

1. 課題区分・管理番号 29-c006
2. 研究テーマ 福祉施設周辺地域で開催する「サイエンスキャラバン」
3. 研究期間 平成29年8月1日 ～ 平成30年3月31日
4. 研究代表者 工学部／システム生体工学科 教授 向井 伸治
5. 課題提案者 株式会社ジャックソフト 代表取締役 大澤 祐介

## 6. 研究成果の概要

下欄には当該研究成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、地域課題研究事業計画書に記載した「研究目的」と「研究計画・方法」に照らし、A4で2～3枚程度で、できるだけ分かりやすく記載願います。文章の他に、研究成果を端的に表す図表を貼り付けても構いません。本学HPにて公表しますので、公表できる内容としてください。

### ◆地域単位での「知のアンチエイジング機能」活性化を目指して

本研究は、既存のサイエンスカフェ（コーヒーを飲みながら講話を聴く会）の開催地がある程度固定されている問題点の解決を目指す。サイエンスカフェに参加できない地方での展開を可能にする手段として、ヒアリング・プレ開催・アンケートを通して実現していく。

会場を各地域の福祉施設等で行うことにより、移動手段が限定された高齢者の参加を容易にし、同時に、福祉施設内へ入る経験により施設の地域イメージをアップさせる効果を期待する。

### ◆初期想定からの変遷内容

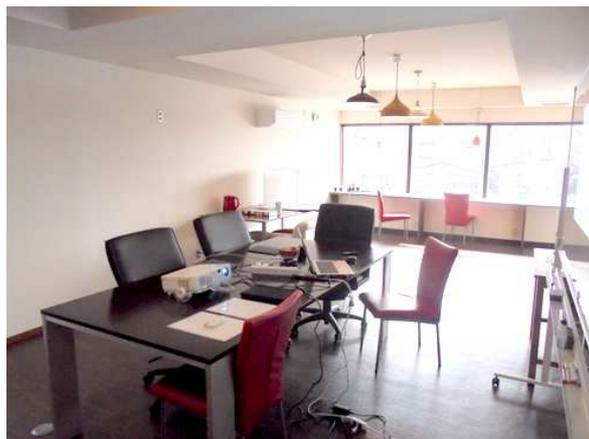
提案時では、広く興味が沸く「身体・病気」などの自身に関するテーマを考えていた。実際に福祉施設でヒアリングを行ったところ、IT機器（スマートフォンやパソコン等）に関する興味が強く、話を聞けるのであれば参加してもいいという方が最も多い結果となった。

想定とズレがある事をふまえ、チラシを新聞折り込みから、近所の方へ直接手渡しに変更し、告知と同時に簡単なヒアリングを行い、開催内容への興味の強さを図った。また、時間の都合等を考慮し、「開場中いつでもお気軽に立ち寄れる」形式にて告知を行った。



◀ 直接手渡ししたチラシ

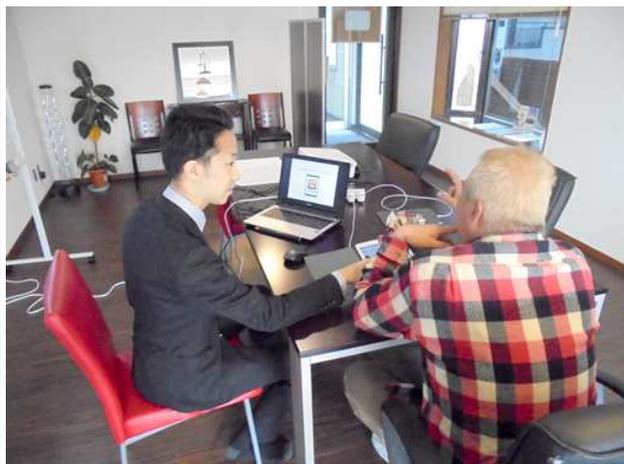
## ◆会場内写真



### 体験・操作可能な IT 機器

- ・ iPad  
動画、メッセージ、MAP、天気等の閲覧。
- ・ ノートパソコン & プロジェクタ  
iPad の画面をプロジェクタで表示。  
写真や動画の撮影、プロジェクタで閲覧。PowerPoint での簡単な説明。
- ・ Bluetooth スピーカー  
無線で iPad 音声を流す体験、撮影した動画の再生。

◆参加者体験写真



今回参加者：7名（男性7名、女性0名）

参加者年齢：38歳～77歳

ご来場動機：開催内容、会場が近所、入場のし易さ

今回の感想：IT機器への興味が深まった

次回の要望：今回の続き、近所での開催、参加者間のコミュニケーション

※参加後アンケートより集計

